

(別紙5)

整理番号 2022P-145
補助事業名 2022年度 障害者グループホームの建築 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 三穂の園

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

近年、障がい者の高齢化・重度化が問題となっており、在宅生活者においては保護者も高齢化し在宅での昼夜の常時介護は限界となっています。

本事業は、高齢で重度の障がい者の方の住居が確保されると共に、昼夜を通して同一施設で一貫して手厚い支援を受けられ、地域で安心して暮らすことができる施設(日中サービス支援型グループホーム)を建築し開所することを目的とします。

(2) 実施内容

障害者グループホームの建築(<http://mihonosono-sumikura.jp/publics/index/26/>)

- ・グループホーム定員10名+短期入所1名
- ・鉄骨造1階建、延べ床面積270.00㎡
- ・付帯設備：暖冷房設備201.73㎡、スプリンクラー設備169.81㎡



グループホーム住倉八島8棟 外観①



グループホーム住倉八島8棟 外観②



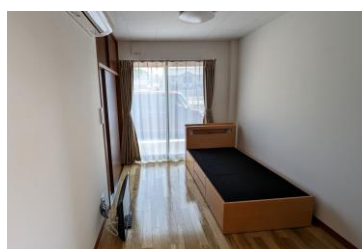
正面玄関周辺 (標識あり)



標識



食堂・居間・廊下



居室

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

JKAより助成を受けて建築したグループホームは、高齢で重度の障がい者が昼夜を問わず同一施設内で生活できる日中サービス支援型のグループホームであり、従来のグループホームを運営している近隣施設に対しての参考モデルになると思われる。施設が完成したことで多方面から見学の依頼があり、注目されている。

近年、障がい者の高齢化が顕著であり、これまでは在宅で生活されてきた障がい者が、保護者の高齢化で在宅での常時介護に限界となった時の受入先となる。また、既存のグループホームや入所施設利用者の将来的に高齢となった時の受け皿となる。

これらより、既に多くの入居希望の問い合わせをいただいております。障がいを持たれた我が子が高齢になった時の受入先を心配されていた保護者から大いに期待されている。そのため将来的には更なる増床をする必要もあると思われる。

更には、支援員、世話人、夜勤専門員等の人員を増やす必要があることから、地域の雇用に関しても貢献を図っていただけるようになる。

3 補助事業に係わる成果物

本事業に係わる印刷物等

- ・地元紙「山陽新聞」に広告掲載（令和5年4月28日）
- ・当法人ホームページに掲載 <http://mihonosono-sumikura.jp/publics/index/26/>
- ・当法人広報誌「住倉」第31号（令和5年6月発行）に掲載予定

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人 三穂の園
(シャカイフクシホウジン ミホノソノ)

住 所： 〒713-8111
岡山県倉敷市玉島服部字弥高3788-1

代 表 者： 理事長 岡 良夫 (リジチョウ オカヨシオ)

担 当 部 署： 住倉学園 (スミクラガクエン)

担 当 者 名： 生活支援課長 大源新一
(セイカツシエンカチョウ ダイゲンシンイチ)

電 話 番 号： 086-525-2522

F A X： 086-525-2411

E - m a i l： sumikura@movie.ocn.ne.jp

U R L： <http://mihonosono-sumikura.jp/>